

平成30年10月16日 学校教育魅力化フォーラム

統合への軌跡

岡山県真庭市教育委員会
教育総務課 主査 西 祐典

「地域に誇りをもつ子どもを育てる」地域参画型子育て教育環境の創造！

～「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」をとおして～

～風は西から～



真庭市キャラクターまにぞう

目次

■ 真庭市の紹介

- ・真庭市の概要…………… 2

■ 統合の経緯

- ・統合の舞台…………… 3
- ・児童数の推移…………… 4
- ・統合の背景…………… 5

■ 統合理念

- ・コンセプト…………… 6
- ・スローガン…………… 7

■ 統合への取り組み

- ・文部科学省委託事業…………… 8
- ・統合までの過程…………… 9
- ・地域住民への説明会…………… 10
- ・統合準備委員会①、②…………… 11、12
- ・スクールバス検討、成果…………… 13、14
- ・交流事業実施、成果…………… 15、16
- ・教育課程検討…………… 17

■ 今後の取り組み

- ・コミュニティ・スクール導入へ向けて…………… 18

■ 施設環境整備

- ・木の学び舎①、②…………… 19、20
- ・北房小学校、こども園の概要…………… 21

■ 伝えたいこと

- ・統合にかかる課題、メッセージ…………… 22



真庭市の紹介

【概要】

■ 平成17年3月31日、「真庭郡勝山町、落合町、湯原町、久世町、美甘村、川上村、八束村、中和村及び上房郡北房町」の9町村が合併し、「真庭市」として誕生。岡山県北部で、中国山地のほぼ中央に位置する。

■ 人口 45,839人（東京都23区人口の約200分の1）
（平成30年10月1日現在 住民基本台帳速報値より）

■ 面積：約828km²（東京都23区の1.3倍）
（南北50km 東西30km）
（県下1位、県土の約11.6%）

■ 土地利用：山林79.2%・田畑8.2%
宅地1.7%・その他10.9%

■ 小学校 21校、児童数 2,155人

■ 中学校 6校、生徒数 1,121人

■ 学校統合の状況

・平成23年度 津田小学校に上田小学校を、美川小学校に別所小学校を吸収統合

・平成25年度 砦部小学校に阿口小学校を吸収統合

・平成26年度 落合小学校に津田小学校を吸収統合

・平成28年度 勝山中学校に美甘中学校を吸収統合

・平成30年度 中津井小学校、砦部小学校、上水田小学校、水田小学校を統合し、北房小学校を新設



統合の舞台

真庭市北房地域



旧菅部小学校

旧水田小学校

北房小学校

旧上水田小学校

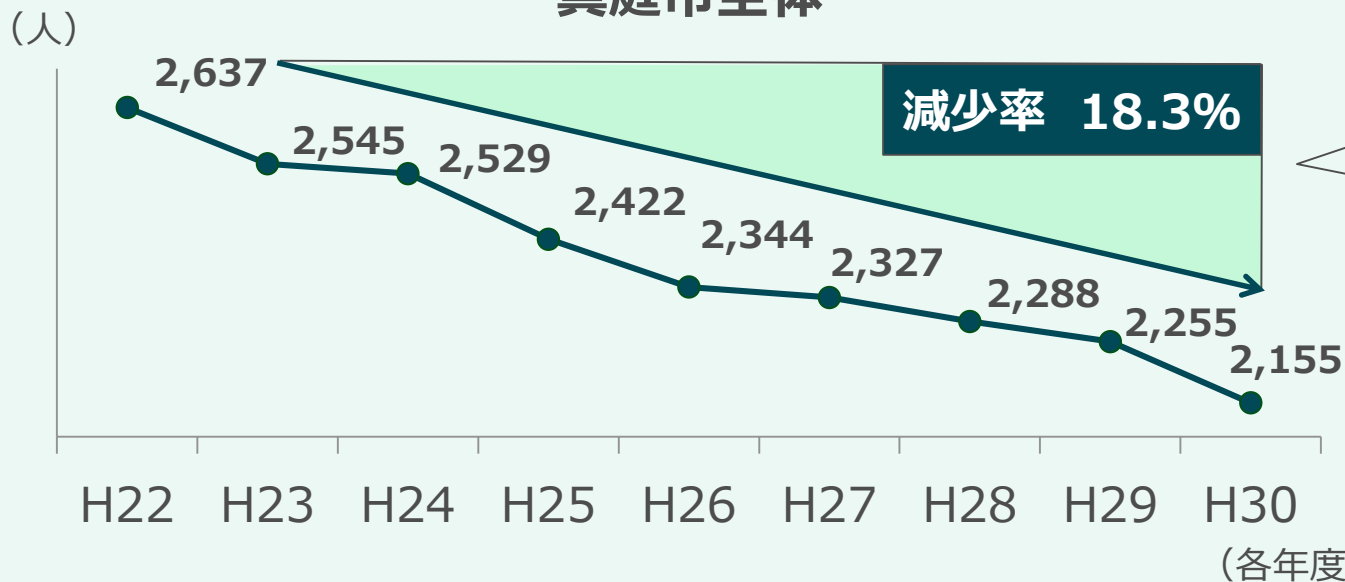
北房中学校

約 5 km

旧中津井小学校

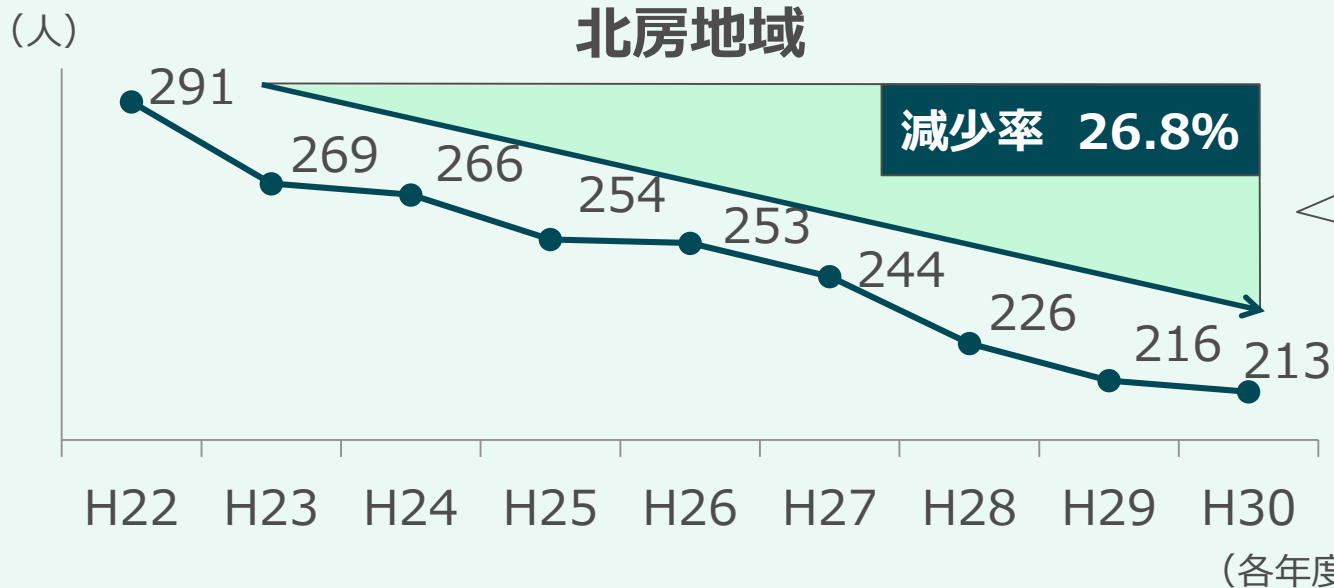
小学校児童数の推移 【学校基本調査より】

真庭市全体



児童数は市全体で減少傾向

北房地域



市全体の児童数減少率を大きく上回っている

統合の背景

【統合の背景・理由】

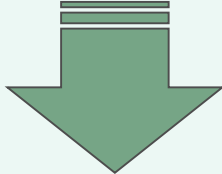
- ・地域の人口及び児童数減少が進んでいた。
- ・人口推計上も数年後の学校維持が困難となることが明らかであった。

↳ **持続可能な教育環境**を整える必要があった。

- ・旧至道高校跡地を活用し、小学校・こども園・放課後児童クラブを同一敷地内に置くことで、目指すべき**持続可能な教育環境**を実現できる可能性があった。
- ・オール北房（教育連携）の文化があった。
- ・国において、子育て支援の充実・地方創生の流れがあった。

課題

少子高齢化の流れの中で、教育の持続と安定をいかに培っていくか
これからの不透明な社会を、力強く生きていくためにどんな力が必要か



地域参画型の子育て教育環境の創造

① 地域循環型の新教育環境をつくる



地域の魅力を活かした体験・学びが身につく
地域全体で子どもをはぐくむ姿、誇り、取り組みができる
「オール北房」文化の継承・発展につながる

② 地域に誇りをもつ子どもを育てる

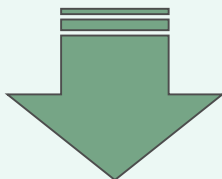


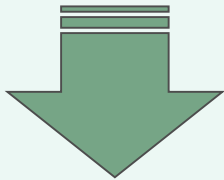
地域貢献への意欲醸成（転出抑制・転入促進）
地域の魅力を発信する力が向上

③ 育ちと学びの連続性を確保する



学齢期に応じた教育を展開し、個性を伸ばし輝かせる
安全・安心な子育て環境が確保できる





風は西から

西日本にある真庭市北房の地から
日本全国へ、世界へ「新たな教育環境
づくり」の風を吹かせたい



【委託期間】 平成27～29年度

【研究主題】 学校統合を行う場合の教育環境充実事例

【研究タイトル】

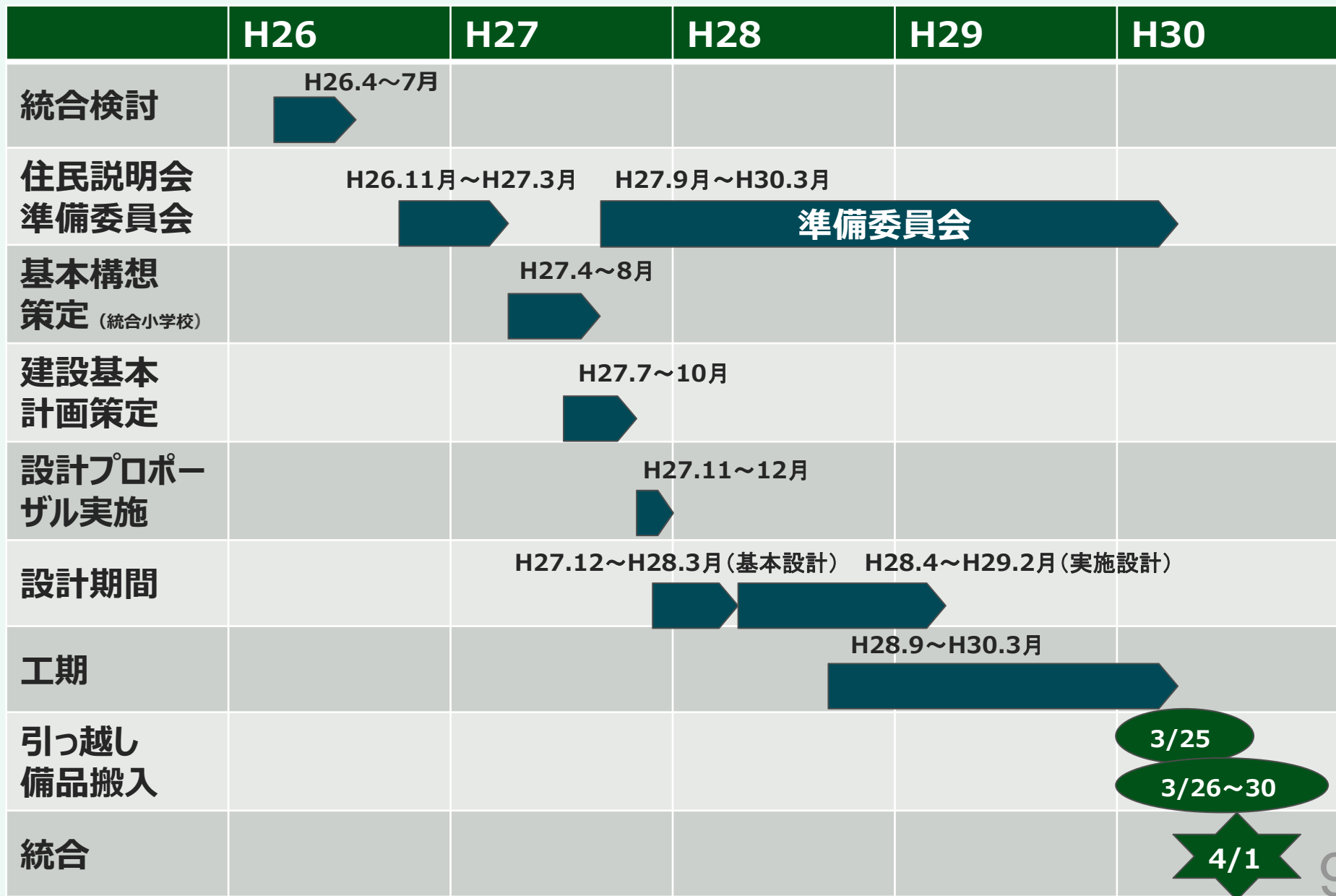
地域参画で進める新しい子育て教育環境の創造

～認定こども園・小学校・放課後児童クラブ同一敷地内設置をとおして～

- 【研究課題】
1. 統合後の学校が新たな学区の地域コミュニティの核として高い教育機能を発揮するための方策に関する研究
 2. 長時間通学や、通学へのスクールバス・交通機関等の導入に伴う課題の解消に関する研究
 3. 統合を契機とした魅力的な学校づくりに関する先進的な取組

【調査研究対象校】 旧中津井小学校、旧砦部小学校、旧上水田小学校
旧水田小学校

統合までの過程



地域住民への説明会

○全体説明会（1回）及び地区説明会（各地区1回）

対象：地域住民、保護者（PTA）

学校・園関係者等

内容：統合の趣旨、学校・園整備計画について



○ワークショップ型検討会（全3回）

対象：地域住民、保護者（PTA）

学校・園関係者等

内容：新たな教育環境整備への期待や課題について

意見交換を実施



■基本構想（案）を策定

■統合準備委員会設立



北房地域新教育環境準備委員会①

4 小学校の統合・3 幼稚園と2 保育園の統合を円滑に行うための準備・検討及び調整を図ることを目的に平成27年9月に設置。

構成員

地域代表

保護者代表 (PTA)

学校・園関係者

一般公募等

部会

運営部会

通学・地域
交流部会

学校教育・
こども園部会

検討事項

名称
校歌・校章
制服
組織運営

通学・通園
地域参画
放課後児童クラブ

教育・保育内容
生活指導
備品整備・移転
行事・学校間交流

北房地域新教育環境準備委員会②

○開催実績

発足初年度から統合前まで
合計25回開催

・平成27年度（7回）

基本構想、建設基本計画、
プロポーザル実施状況等の報告
通学方法等の検討

・平成28年度（9回）

校舎・園舎の名称、制服、
通学方法等の検討

・平成29年度（9回）

校（園）歌、校（園）章、
通学方法等の検討



○準備委員会だよりの発行

準備委員会における検討の状況を
保護者や地域の方へお知らせ
(全4号発行)

- ・平成27年度 1号
- ・平成28年度 2号
- ・平成29年度 3号、4号

**北房地域新教育環境
準備委員会だより**

平成29年6月27日 第3号
編集・発行
北房地域新教育環境準備委員会
事務局 真庭市教育委員会
教育総務課
☎0867-42-1085

この委員会だよりは、北房地域新教育環境準備委員会における検討の状況を保護者や地域のみならず、お知らせするために発行しています。

**北房小学校
北房こども園** **名称決定**

平成28年5月に小学校・こども園の名称の公募を行いました。
北房地域の方を始め、122名の方から応募がありました。
応募件数は、小学校名が121件、こども園名が117件の名称案が寄せられました。

平成28年7月に開催した準備委員会で協議をし、
なじみ深く、親しみやすいなどの理由から、
「北房小学校」「北房こども園」の名称案を選定しました。

制服決定

平成28年8月に保護者の投票を行い、北房小学校と北房こども園の制服が決定しました。

こども園 一
青色の上着です。

一 小学校
濃紺のブレザー（金
ボタン）、
青色チェックのスポ
ンズスカートです。

（北房小学校）

（北房こども園）

**北房小学校
外観イメージ図**

真庭市公式ホームページで、建設状況を
お知らせしています。（毎月更新）
「真庭市 北房小学校」で検索してください。

**北房地域新教育環境
準備委員会だより**

平成29年8月24日 第4号
編集・発行
北房地域新教育環境準備委員会
事務局 真庭市教育委員会
教育総務課
☎0867-42-1085

この委員会だよりは、北房地域新教育環境準備委員会における検討の状況を保護者や地域のみならず、お知らせするために発行しています。

校歌

北房小学校の校歌が決定しました。
作詞は北房在住の久松秀雄さん、作曲は高梁市在住の吉川昭さ
んです。
久松さんと吉川さんが、2つの校歌案を作られ、エスパス少年
少女合唱団が各合唱団員に協力をしてくださいました。校歌案を
準備委員会で聞き比べ、7月29日の準備委員会で投票しまし
た。

真庭市立北房小学校 校歌 作詞 久松 秀雄
作曲 吉川 昭

一 吉原の山脈(やまのみ) 緑に映えて 三 明るい陽光(ひざし) 野に輝ちて
古代の歴史 薫る匂 爽やかな わが郷土
共に学ぼう たくましく 共に輝けよう 健やかに
明るい笑顔 輝いて 希望の光 輝いて
あゝ北房北房 われらの小学校 あゝ北房北房 われらの小学校

二 花の街道(かいどう) コスモス挿れて
水が川を渡る 清冽よ
共に歩こう 変えたい
がんばる力 輝いて
あゝ北房北房 われらの小学校

校章

北房小学校の校章「北」と市の花「コス
モス」をモチーフに、お姿が自然に感じら
れ小学校周辺と「川」の文字を表し、温か
い表情に包まれ、光輝の母家への大きな
夢や希望 を自然に表現し、希望・勇気・
向上する明るい気持を表現されています「北
房小学校」の輝かしい姿をアピールしてい
ます。（制作者 井口ゆひさ 群馬高梁市
在住）

明るい緑色
ピンク色
ピンク色
黄色

北房小学校の校章「北」と市の花「コス
モス」をモチーフに、お姿が自然に感じら
れ小学校周辺と「川」の文字を表し、温か
い表情に包まれ、光輝の母家への大きな
夢や希望 を自然に表現し、希望・勇気・
向上する明るい気持を表現されています「北
房小学校」の輝かしい姿をアピールしてい
ます。（制作者 井口ゆひさ 群馬高梁市
在住）

北房の花「コスモス」と「健やかな笑顔」を
基調に校章の自然の中で一緒に輝く元氣な
園児の笑顔で北房こども園を象徴的に表現
しました。

緑は大地と希望、黄は光のみのり、ピンク
は花で豊かな自然と屋上に思われた北房市
を象徴的にイメージしました。
（制作者 工藤紀久 群馬桐生市在住）

公開作の中から、準備委員会で
選定し、園章が決められました。

公開作の中から、準備委員会で
選定し、園章が決められました。

園章

遠距離通学支援 ～スクールバスの運行について～

課題：遠距離通学支援の在り方

準備委員会

「通学・地域交流部会」
を中心とした熟議

各小学校区のPTAを中心に検討

↓ ↑ 熟議

通学・地域交流部会で協議

↓ ↑ 熟議

行政（計画立案）

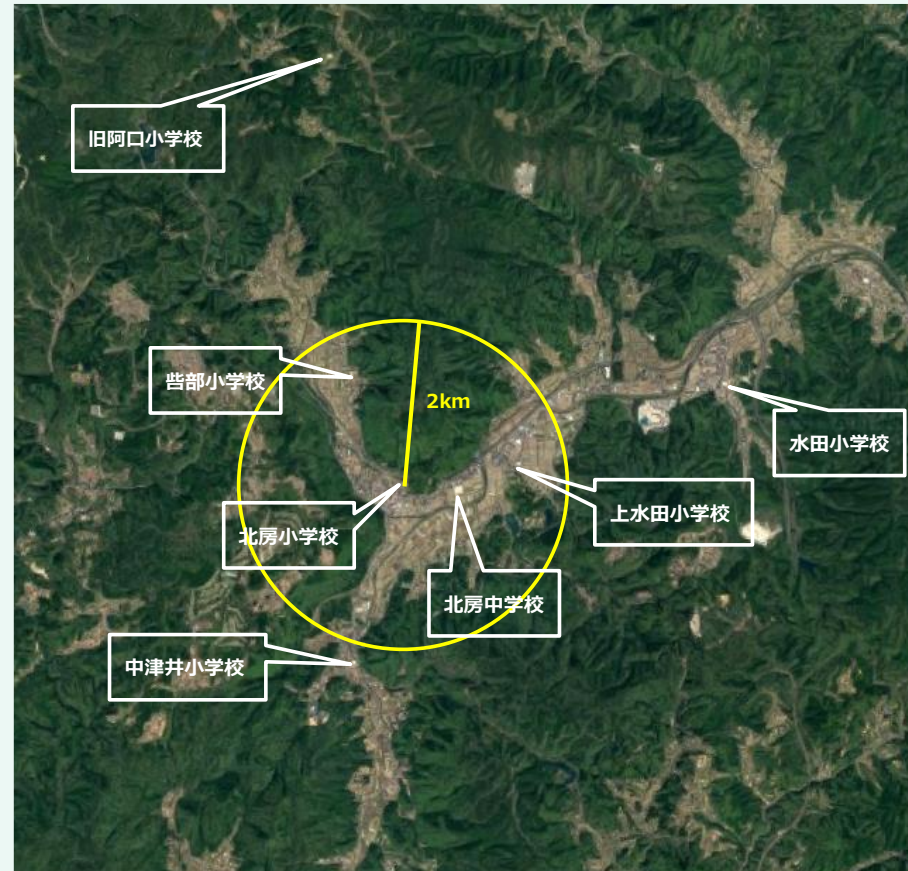
検討の視点

（１）安全・安心な通学環境

- 乗降場所の検討（幹線を基本）
- 徒歩通学路の検討
- 学校前停留所の新設

（２）児童の健康・体力

- 乗降場所を少なくし、徒歩を推奨
（見守りボランティアによる安全確保）



各小学校から北房小学校までの距離
中津井小：2.3 km 皆部小：1.8 km
上水田小：1.8 km 水田小：4.8 km

遠距離通学支援検討の成果

部会、保護者・地域、行政間での熟議の結果

■ スクールバス 5路線・3台の運行決定

- 開校後スムーズな運行

ルート区分	運 行 表			
ルート①	皆部方面発 → 小学校	(回送)	水田方面 1 発 → 小学校	
	7:25	35	50	8:05
ルート②	上水田方面発 → 小学校	(回送)	水田方面 2 発 → 小学校	
	7:25	36	49	7:59
ルート③	中津井方面発 → 小学校			
	7:37	7:55		

■ 安全・安心な通学環境に関する意識の高揚

- 「見守りボランティア」の立ち上げ
(約50名の登録者)
- ・ 各地区のバス停までの安全確保
- ・ 徒歩通学の児童の安全確保



交流事業の実施

ねらい

○統合への不安解消と期待の醸成

○統合を見通した共通の行動様式の定着

海の学習（第5学年）

カッター訓練、地引き網、交流活動



ほたるの発表会

ほたるについて調べまとめたことを発表



修学旅行（第6学年）

大阪・京都・奈良方面への修学旅行

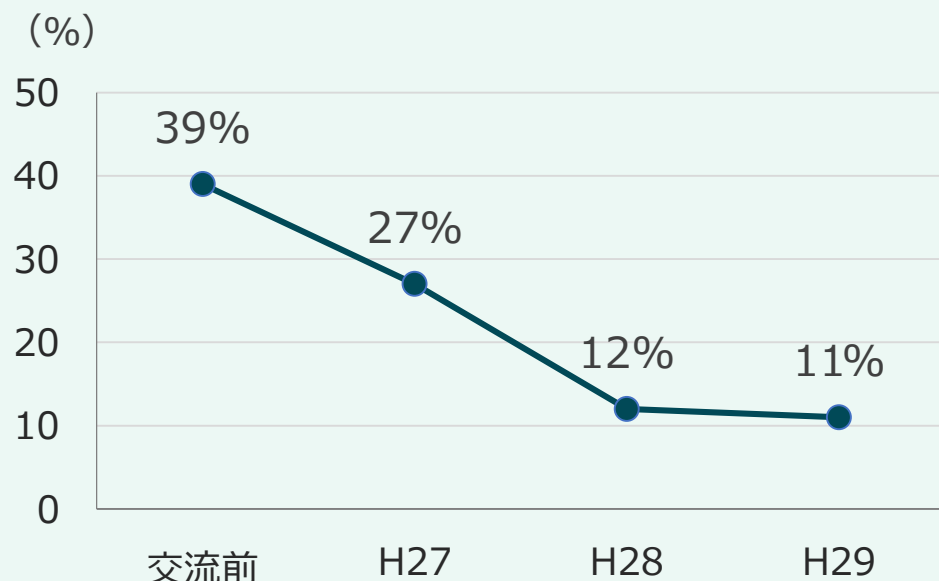


合同授業

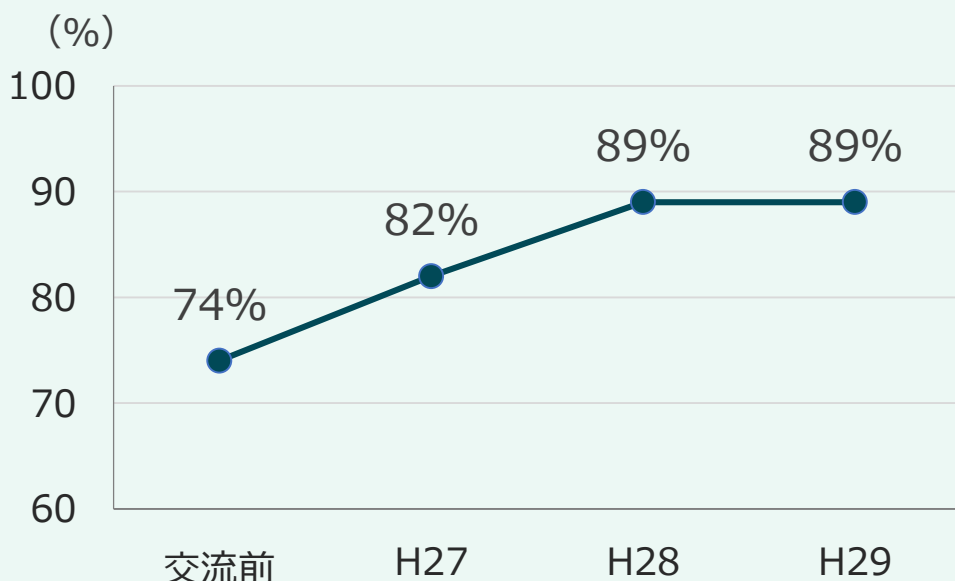
低・中・高学年ごとの交流会、交流授業



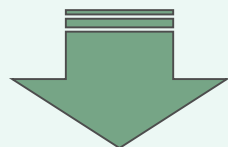
交流事業の成果



「多い人数での勉強や運動に不安を感じる」



「多い人数での勉強や運動をするのはよいことだ」



■ 交流が進むにつれ、統合による多い人数での活動に対する不安が低減し、期待が高まった。

不安	39%	→	11%	減少
期待	74%	→	89%	増加

新たな教育課程の編成

学校教育目標

ふるさとを愛し 未来に向かって輝く 子どもの育成
～やさしく かしこく たくましく～

ビジョン

目指す学校像

- 笑顔あふれる楽しい学校
- 活力に満ちみんなで伸びる学校
- 地域とつながり 信頼される学校

目指す児童像

仲よく 助け合う子ども
めあてをもって 学ぶ子ども
元気で粘り強い子ども

教育課程の編成・実施

- (1) 授業づくり
- (2) 集団作り
- (3) 校種間連携（保幼小中）
- (4) 地域との連携・協働
- (5) 体験活動と探究活動の一体化

現状からビジョンに向けて
 ◆インクルーシブ教育 ◆キャリア教育



ビジョン 設定・共有

保護者・地域の願い

中津井

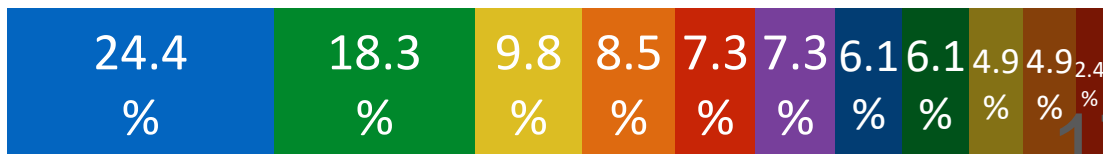
皆 部

各校の実態

上水田

水 田

- | | | |
|----------|--------------|--------|
| ■ 優しさ | ■ 自己実現 | ■ 根気強さ |
| ■ 健康 | ■ 郷土愛 | ■ 人間関係 |
| ■ 規範意識 | ■ コミュニケーション力 | ■ 生活習慣 |
| ■ 思考力判断力 | ■ 学力 | |



コミュニティ・スクール導入へ向けて

北房学園運営協議会（仮）

- 学習支援
- 生活改善
- 生涯教育など

連携

コーディネーター
兼任

- 見守り隊
- 学習支援

地域学校
協働本部

北房地域の教育現状

「教育環境」「児童生徒の実態」

北房学園ビジョン

北房学園

連携した教育活動

北房中学校

北房小学校

北房こども園

放課後児童クラブ

同一敷地内

保護者・地域の願い

「優しさ」「自己実現」「根気強さ」「健康」「郷土愛」

説明

承認・意見



連携・協働



100年続く木の学び舎①

たずさわったすべての人の思いが詰まった
木の学び舎

校舎全体が、触れるものすべてが生きた教材

回る経済を意識し、
地元木工事業者を育てる試み

バイオマスボイラーを採用し、環境負荷を低減

北房小学校とこども園の概要

敷地面積 23,666.33 m² (小学校・こども園・放課後児童クラブを含む)

総事業費 約41億3,900万円 (用地、設計費、小学校・こども園・放課後児童クラブの工事、外構工事費を含む)

財 源 国庫補助金 約7億9,200万円

起 債 約32億2,600万円

一般財源 1億2,100万円

○小学校 校舎 (新築)

構造規模 木造一部鉄筋コンクリート造 2階建 3,733.19 m²

屋内運動場棟 木造 2階建 923.52 m²

プール棟 鉄筋コンクリート造平屋建 240.84 m²

ボイラー棟 鉄筋コンクリート造 2階建 132.75 m²

工事費 (建物) 24億5,837万円 (建築・電気・機械・バイオマスボイラー) ※外構工事・備品購入費を除く。

工 期 平成28年9月29日～平成30年3月19日

○こども園 園舎 (新築)

構造規模 木造 (CLT) 2階建て 1,684.54m²

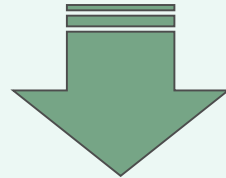
工事費 (建物) 9億5,618万円 (建築・電気・機械) ※外構工事・備品購入費を除く。

工 期 平成29年3月2日～平成30年3月20日

木材使用量 (m ³)	小学校		こども園	計
	校舎棟	屋内運動場		
構造用集成材	584.31	211.12	160.13	955.56
C L T	94.97	73.58	723.92	892.47
製材・造作材	177.91	39.45	44.84	262.20
合計	857.19	324.15	928.89	2,110.23

統合にかかる課題、メッセージ

- 統合ありきの議論ではなく、子どもにとって望ましい教育環境について、学校・保護者・地域と住民感情に配慮しながら、合意形成を積み上げていくことが肝要。
- 地域参画型の準備委員会を設立し、部会ごとに進捗を確認、熟議し推進していく必要がある。
- 統合するためのコンセプトやスローガンを明確にすることで、保護者や住民理解を得やすくなる。
- 将来を担う子どもの育成を第一に考えていく。
- 地域とともに公教育の魅力を高めていくことが、地方創生につながる。



この過程そのものが宝となる

**「教育は明るい未来を描く」
そうありたいと願っています**

ご静聴ありがとうございました！

